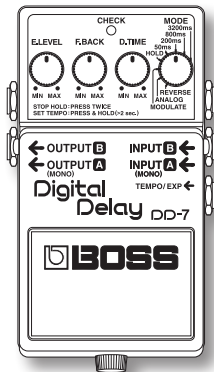


DD-7

Digital Delay

日本語

取扱説明書



この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』をよくお読みください。

お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

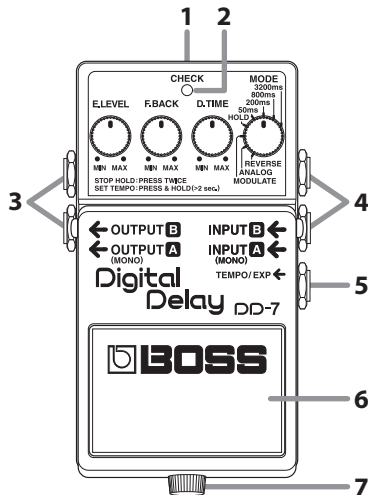
BOSS

主な特長

- 最大 6.4 秒のロング・ディレイを実現。(*1) さらに、ホールド・モードでは最大 40 秒のループ・プレイやサウンド・オン・サウンドが可能です。
- ディレイ音に揺らぎを加える「MODULATE」、BOSS のアナログ・ディレイ DM-2 の音色をモデリングした「ANALOG」を搭載しています。
- 2 イン 2 アウトの完全ステレオのディレイに加え、新たな 2 つのステレオ・モードを搭載しています。
- 「パンニング」や「エフェクト+ダイレクト」などのステレオ効果が得られます。
- エクスプレッション・ペダル (Roland EV-5 : 別売) によるパラメーターのコントロールが可能です。
- フットスイッチ (FS-5U : 別売) または本体ペダルによるテンポ入力で、曲のテンポに合わせたディレイ・タイムがリアルタイムにセット可能です。

※ (*1) 設定可能なディレイ・タイムはモードによって異なります。

各部の名称とはたらき



1. DC IN 端子

AC アダプター (PSA-100:別売) を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。

- ※ AC アダプターを使用する場合でも電池を入れておくと、万一ACアダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。
- ※ AC アダプターは、必ず指定のもの (PSA-100) を、AC100V の電源で使用してください。
- ※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

2. CHECK (チェック) インジケーター

エフェクト・オン／オフの表示と、各機能の表示、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。

エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。

- ※ エフェクト・オン時や各機能の表示のときにインジケーターが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、「電池交換のしかた」(P.20) をご覧ください。
- ※ CHECK インジケーターはエフェクト・オン／オフ、各機能を表示するインジケーターです。電源のオン／オフの表示ではありません。

3. OUTPUT-A (MONO) 端子、 OUTPUT-B 端子

アンプや他のエフェクターに接続する出力端子です。

- ※ モードや接続によって機能が異なります。詳しくは「出力のしかたを設定する」(P.13) をご覧ください。

4. INPUT-A (MONO) 端子、 INPUT-B 端子

ギター、その他の楽器やエフェクターの出力を接続する入力端子です。

- ※ モードや接続によって機能が異なります。詳しくは「出力のしかたを設定する」(P.13) をご覧ください。
- ※ INPUT-A (MONO) /INPUT-B 端子は電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT-A (MONO) /INPUT-B 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。エフェクターを使用しないときは、INPUT-A (MONO) / INPUT-B 端子に挿入しているプラグを抜いてください。

各部の名称とはたらき

5. TEMPO/EXP 端子

外部フットスイッチ (FS-5U: 別売) または、エクスプレッション・ペダル (Roland EV-5: 別売) を接続する端子です。

フットスイッチによるテンポの設定、エクスプレッション・ペダルによる各パラメーターの操作ができます。

※ 詳しくは「外部フットスイッチでテンポを設定する」(P.10)、「エクスプレッション・ペダルによるコントロール」(P.17)をご覧ください。

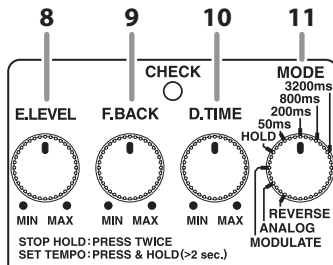
6. ペダル・スイッチ

エフェクト・オン／オフの切り替えや、各機能のスイッチです。

7. サム・スクリュー

このサム・スクリューをゆるめるとペダルが開き、電池の交換が行えます。

※ 交換方法については「電池交換のしかた」(P.20) をご覧ください。



8. E.LEVEL (エフェクト・レベル) つまみ

エフェクト音の音量を調節します。右に回すほどエフェクト音が大きくなります。3 時の位置に設定すると、ダイレクト音と同じ音量になります。

※ REVERSE モードの場合、E.LEVEL つまみを MAX に設定すると、エフェクト音のみが入力音と同じレベルで出力されます。

9. F.BACK (フィードバック) つまみ

フィードバック量を調節します。右に回すほどディレイ音の繰り返し回数が多くなります。

※ HOLD モードでは使用しません。

※ つまみの位置によって発振することがあります。

10. D.TIME (ディレイ・タイム) つまみ

ディレイ・タイムを調節します。右に回すほどディレイ・タイムが長くなります。

※ HOLD モードでは使用しません。

※ MODE つまみの位置によって設定可能なディレイ・タイムは異なります。

11. MODE (モード) つまみ

ディレイ効果を切り替えます。

通常のディレイ	
MODE つまみ	ディレイ・タイム
3200 ms	800 ~ 3200 ms
800 ms	200 ~ 800 ms
200 ms	50 ~ 200 ms
50 ms	1 ~ 50 ms

※ ロング・ディレイの出力設定をすると、ディレイ・タイムは2倍になります。詳しくは「ロング」(P.14)をご覧ください。

特殊なディレイ	
MODE つまみ	ディレイ・タイム
HOLD	40 sec. *1
MODULATE	20 ~ 800 ms
ANALOG	20 ~ 800 ms
REVERSE	300 ~ 3200 ms

*1 HOLD モード時はステレオ入力で最大 20 秒、モノラル入力で最大 40 秒です。

※ ロング・ディレイの出力設定をすると、ディレイ・タイムは2倍になります。詳しくは「ロング」(P.14)をご覧ください。

HOLD (ホールド)

最大 40 秒 (モノラル入力時) までの演奏内容を録音して、その内容を繰り返し再生します。

※ 詳しくは「ホールド (オーバーダビング) 機能の使いかた」(P.12)をご覧ください。

MODULATE (モジュレート)

エフェクト音のわずかな揺らぎによって、心地よいコーラス効果が得られます。

各部の名称とはたらき

ANALOG (アナログ)

BOSS のコンパクト・ディレイ「DM-2」の音色をモデリングしたディレイです。

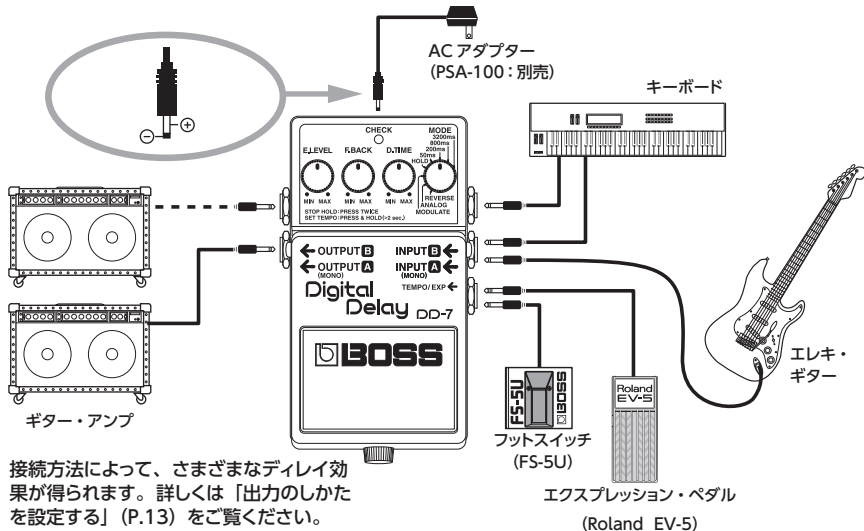
リピート音が繰り返すたびに、音色が徐々に変化していきます。

REVERSE (リバーブ)

テープを逆回転させたような効果が得られるディレイです。

E.LEVEL つまみの位置によって「エフェクト音+ダイレクト音」と「エフェクト音のみ」の2種類の効果が得られます。E.LEVEL つまみを MAX に設定すると、「エフェクト音のみ」の効果に切り替わります。

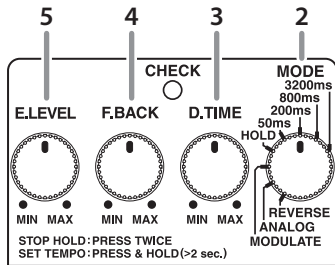
接続のしかた



接続のしかた

- ※ 接続プラグを INPUT-A (MONO) 端子または INPUT-B 端子に差し込むと電源がオンになります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ この機器は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。
- ※ この機器は消費電流が大きいので、AC アダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。抵抗入りのケーブルを使用すると音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブル (Roland : PCS シリーズなど) をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合、ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- ※ AC アダプターを使用する場合でも、電池を入れておけば、万一本機から AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。
- ※ 正しく接続したら、必ず次の手順で操作してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。
 - 電源を入れるとき：ギター・アンプの電源を**最後**に入れてください。
 - 電源を切るとき：ギター・アンプの電源を**最初**に切ってください。
- ※ 電池だけで使用する場合、電池が消耗してくると CHECK インジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

基本操作



1. エフェクトをオンにする

接続を終えたら、ペダル・スイッチを踏み、エフェクト・オンの状態にします。(CHECK インジケーター赤点灯)

- ※ 本機は、「シームレス切り替え機能」を搭載しており、エフェクトをオフにしても、ディレイ音は徐々に減衰します。
- ※ HOLD モードのとき、エフェクトのオン／オフはできません。
- ※ 接続方法によって、さまざまなディレイ効果が得られます。詳しくは「出力のしかたを設定する」(P.13)をご覧ください。

2. モードを選択

MODE つまみで使用するモードを選びます。

- ※ モードによって操作が異なります。それぞれの操作をご覧ください。

3. ディレイ・タイムを調節

D.TIME つまみでディレイ・タイムを調節します。

4. フィードバック量を調節

F.BACK つまみでフィードバック量（繰り返し量）を調節します。

- ※ 入力音やつまみの位置によって発振することがあります。

5. 音量調節

E.LEVEL つまみでエフェクト音の音量を調節します。

テンポ・ディレイの使いかた

演奏曲のテンポに合わせてペダル・スイッチを踏むことにより、テンポにあったディレイ・タイムに設定したり、演奏中にディレイ・タイムを変更したりできます。

テンポ入力による設定可能なディレイ・タイムの範囲は 0.2 ～ 3.2 秒です。

※ ロング・ディレイの場合、最大 6.4 秒です。

本体ペダルでテンポを設定する

1. モードを選択

MODE つまみで使用するモードを選びます。

※ HOLD モードでは、テンポ入力できません。

2. テンポ・モードに切り替え

ペダル・スイッチを 2 秒以上踏んで、テンポ・モードに切り替えます (CHECK インジケーター緑点灯)。

※ 外部フットスイッチ (FS-5U: 別売) を TEMPO/EXP 端子に接続している場合は、本体ペダルによるテンポ・モードに入ることはできません。

3. テンポ・モードに切り替え

ペダル・スイッチを 2 秒以上踏んで、テンポ・モードに切り替えます (CHECK インジケーター緑点灯)。

※ 外部フットスイッチ (FS-5U: 別売) を TEMPO/EXP 端子に接続している場合は、本体ペダルによるテンポ・モードに入ることはできません。

4. テンポ入力終了

ペダル・スイッチを 2 秒以上踏み、設定を終了します (CHECK インジケーター赤点灯)。

※ 操作 3 から操作 4 に移るとき、一瞬テンポが乱れる場合があります。

※ D.TIME つまみを回すと、ディレイ・タイムはつまみの位置の設定になります。

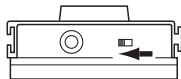
外部フットスイッチでテンポを設定する

TEMPO/EXP 端子にフットスイッチ (FS-5U: 別売) を接続することにより、テンポ・ディレイのテンポ入力を行うことができます。

※ エフェクト・オン／オフにかかわらずテンポ入力できます。

1. FS-5U を TEMPO/EXP 端子に接続

- ※ 標準プラグの接続コードを使用してください。
- ※ FS-5U をお使いになる場合は、ポラリティー・スイッチを端子側に合わせます。



- ※ FS-5L は使用できません。

2. モードを選択

MODE つまみで使用するモードを選びます。

- ※ HOLD モードでは、テンポ入力できません。

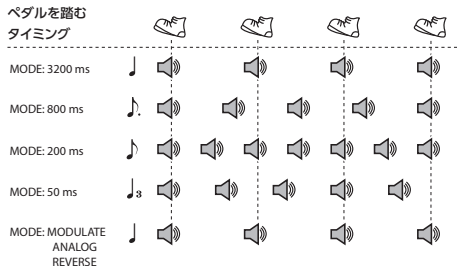
3. テンポ入力開始

曲のテンポに合わせてペダル・スイッチを踏みます。(エフェクト・オフ時: CHECK インジケーター赤点滅、エフェクト・オン時: CHECK インジケーター赤／緑点滅)

- ※ ペダルを踏んだ間隔を 4 分音符 1 拍として換算されます。
- ※ 本体ペダルでのテンポ入力はできません。
- ※ D.TIME つまみを回すと、ディレイ・タイムはつまみの位置の設定になります。

ディレイ音は図のようになります。

- ※ ペダルを踏んだ間隔に合わせて CHECK インジケーターが赤点滅します。



- ※ モードが MODULATE、ANALOG、REVERSE の場合、ディレイ音は MODE つまみの位置の効果になります。

ホールド（オーバーダビング）機能の使いかた

ホールド機能を利用すると、最大 40 秒までの演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。それに合わせて別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。

録音した内容をバックに演奏を続けるなど、特殊な効果を生み出します。

1. HOLD を選択

MODE つまみを HOLD に合わせます（CHECK インジケーター消灯）。

2. 録音開始

本体ペダル・スイッチを踏むと同時に録音を開始します（CHECK インジケーター赤点滅）。

※ 最大録音時間は、ステレオ入力時 20 秒、モノラル入力時 40 秒です。

※ 本体ペダル・スイッチを放しても録音は継続されます。

3. 録音終了、再生開始

録音状態で再度本体ペダル・スイッチを踏むと録音を終了します。同時に、録音した内容を繰り返し再生します（CHECK インジケーター緑点灯）。

4. オーバーダビング

再生状態で本体ペダル・スイッチを踏むとオーバーダビングを開始します（CHECK インジケーター橙点滅）。

5. オーバーダビング終了、再生開始

オーバーダビング状態で本体ペダル・スイッチを踏むとオーバーダビングを終了し、再生状態に移ります（CHECK インジケーター緑点灯）。

6. 音量調節

E.LEVEL つまみで再生音の音量を調節します。

7. 再生終了

再生を終えるときは、ペダルを連続して 2 回踏みます。

※ 1 秒以内の間隔で、ペダルを連続して 2 回踏んでください。

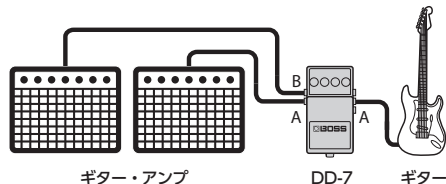
※ TEMPO/EXP 端子にフットスイッチ（FS-5U：別売）を接続している場合、FS-5U を踏むことで再生を停止することができます。

出力のしかたを設定する

DD-7 では、接続方法によって、さまざまなディレイ効果が得られます。

パンニング

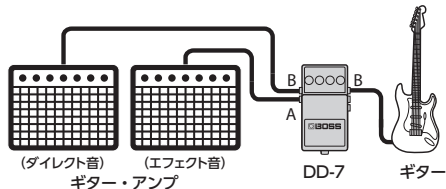
A 入力、A / B 出力でパンニング・ディレイになります。



※ HOLD モードではパンニング機能ははたらきません。

エフェクト+ダイレクト

B 入力、A / B 出力でエフェクト+ダイレクトの出力になります。



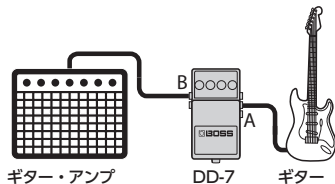
※ A: エフェクト、B: ダイレクト

※ エフェクト・オフにすると、A からはダイレクト音が出力されます。

出力のしかたを設定する

ロング

A 入力、B 出力でロング・ディレイになります。

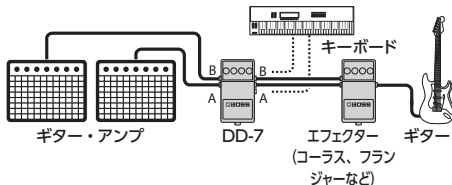


MODE	通常のディレイ	ロング・ディレイ
3200ms	800 ~ 3200 ms	1600 ~ 6400 ms
800ms	200 ~ 800 ms	400 ~ 1600 ms
200ms	50 ~ 200 ms	100 ~ 400 ms
50ms	1 ~ 50 ms	2 ~ 100 ms
HOLD	40 sec. *1	40 sec.
MODULATE	20 ~ 800 ms	40 ~ 1600 ms
ANALOG	20 ~ 800 ms	40 ~ 1600 ms
REVERSE	300 ~ 3200 ms	600 ~ 6400 ms

*1 HOLD モード時はステレオ入力で最大 20 秒、モノラル入力で最大 40 秒です。

ステレオ

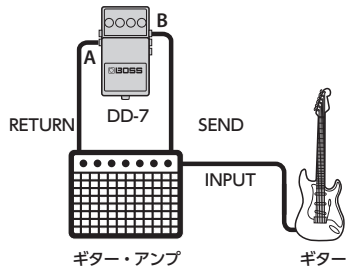
A / B 入力、A / B 出力でステレオ・ディレイになります。



※ ステレオ・ディレイの効果は 3 種類の中から選ぶことができます。詳しくは「ステレオ・ディレイの効果を設定する」(P.16) をご覧ください。

エフェクト

B 入力／ A 出力でエフェクトの出力になります。



- ※ エフェクト・オン／オフにかかわらず、A からダイレクト音は出力されません。
- ※ 接続機器の出力レベルにご注意ください。

ステレオ・ディレイの効果を設定する

ステレオ・ディレイとして使用するときの効果を設定します。ステレオ・ディレイの効果は 3 種類の中から選ぶことができます。

※ ステレオ・ディレイの接続方法について、詳しくは「ステレオ」(P.14) をご覧ください。

1. INPUT-A (MONO) 端子を接続、INPUT-B 端子を未接続に
2. 本体ペダルを押しながら INPUT-B 端子にプラグを挿入

ステレオ・ディレイの設定モードに入り、CHECK インジケーターは橙に点灯します。

3. ステレオ・ディレイの効果を選択

MODE つまみでステレオ・ディレイの効果を選びます。

3200ms : A / B 完全独立のディレイです。

800ms : パンニング・ディレイです。

200ms : 残響音に空間的な広がりをもたせたステレオ・ディレイです。

4. 設定の保存

本体ペダル・スイッチを踏むと CHECK インジケーターが橙の高速点滅をし、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

※ CHECK インジケーターの高速点滅中は、絶対に電源をオフにしないでください。

※ この設定は電源をオフにしても保存されます。

エクスプレッション・ペダルによるコントロール

TEMPO/EXP 端子にエクスプレッション・ペダル (Roland EV-5 : 別売) を接続すると、E.LEVEL、F.BACK、D.TIME つまみの各パラメーターをコントロールすることができます。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

エクスプレッション・ペダル機能の設定方法

1. 本体ペダルを押しながらエクスプレッション・ペダルを接続

エクスプレッション・ペダルの機能設定モードに入り、CHECK インジケーターは橙に点灯します。

- ※ HOLD モード選択中は設定モードに入ることができません。
- ※ TEMPO/EXP 端子にエクスプレッション・ペダルを接続する際は、接続したエクスプレッション・ペダルのミニマム・ボリュームを「MIN」の位置にしてお使いください。

2. パラメーターの設定

E.LEVEL、F.BACK、D.TIME つまみを回して、コントロールしたい範囲の最大値を設定します。コントロールしないパラメーターは「MIN」の位置に設定します。

- ※ エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの範囲は、最大値のみ設定することができます。最小値は設定できません。

3. パラメーターの保存

本体ペダル・スイッチを踏むと CHECK インジケーターが橙の高速点滅をし、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

- ※ CHECK インジケーターの高速点滅中は、絶対に電源をオフにしないでください。
- ※ この設定は電源をオフにしても保存されます。

付属シールの使いかた

「モード・シール」と「アプリケーション・シール」を付属しています。

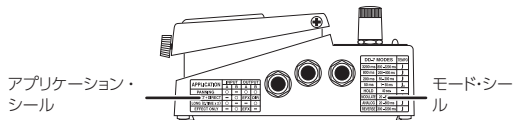
図のように DD-7 に貼ってお使いください。

モード・シール：

モード別のはたらきが確認できます。

アプリケーション・シール：

入出力の接続による機能の違いが確認できます。

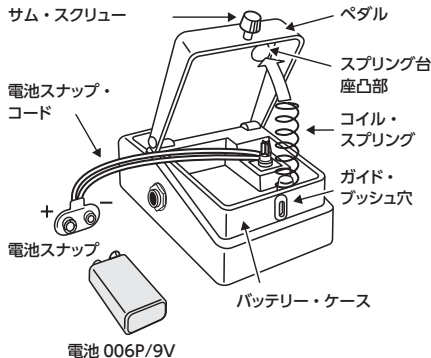


電池について

- ※ この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- ※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。

電池交換のしかた

※ この機器は消費電流が大きいので、AC アダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。



1. ペダル・スイッチを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。

※ サム・スクリューは完全に取りはずすことなく、ペダルを開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。

3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

※ 電池の極性 (+/-) を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

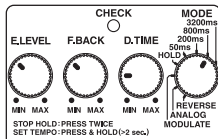
※ ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

サンプル・セッティング

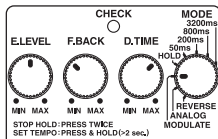
ソロ・プレイ

ギター・ソロをプレイするのに適します。



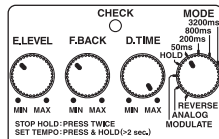
モジュレート

E.LEVEL つまみを右に回すほど、深いコーラス効果が得られます。



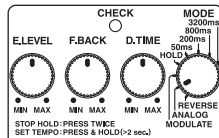
ハード・リフ・サウンド

ハードなディストーション・サウンドのリフを刻むのに適します。



アナログ

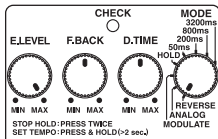
残響音が徐々に変化していきます。D.TIME つまみが中央付近のとき、DM-2 で得られる最大のディレイ・タイムと同等になります。



サンプル・セッティング

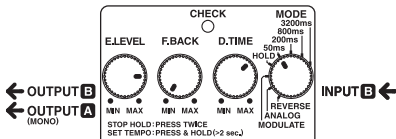
逆再生ディレイ

逆再生風ディレイです。ちょっと風変わりなディレイ・サウンドです。



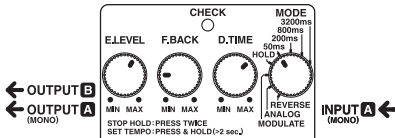
ダブリング

2本のギターを重ねたような効果が得られます。



ルーム・アンビエンス風サウンド

ルームに立てたアンビエンス・マイクで拾ったようなディレイ・サウンドです。

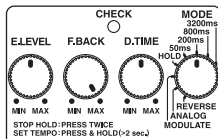


トリック・サウンド

ディレイ音が繰り返されることにより発振します。

D.TIME つまみを回すことで特殊効果が得られます。

※ 音量が大きくなりますので、ご注意ください。



主な仕様

ボス DD-7: デジタル・ディレイ

規定入力レベル	-20dBu
入力インピーダンス	1M Ω
規定出力レベル	-20dBu
出力インピーダンス	1k Ω
推奨負荷インピーダンス	10k Ω 以上
電源	DC9V: 乾電池 006P/9V (6LR61 アルカリ)、AC アダプター (PSA-100: 別売)
消費電流	55mA (DC9V) ※ 連続使用時の電池の寿命 (使用状態によって異なります) アルカリ電池: 約 6 時間
外形寸法	73 (幅) × 129 (奥行) × 59 (高さ) mm
質量	440g (乾電池含む)

付属品	保証書、取扱説明書、チラシ (安全上のご注意、使用上のご注意、サービスの窓口)、乾電池 006P 形 (9V) 6LR61 アルカリ; 本体に接続済み
別売品	AC アダプター: PSA-100 フットスイッチ: BOSS FS-5U、FS-7 エクスペッション・ペダル: Roland EV-5、BOSS FV-500H、FV-500L、BOSS EV-30

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

© 2016 ローランド株式会社

ボス株式会社

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目5番3号